

埼玉県バスケットボール協会 U12カテゴリー一部会

インティグリティ講習会 集計結果

2023年11月11日
埼玉県バスケットボール協会
U12カテゴリー一部会

レジメ

- **総評**
- **インティグリティ講習会 開催結果**
- **インテグリティについて見直すべき点の有無**
- **見直すべき点**
- **見直すべき点がない理由**
- **暴言、暴力を行っている指導者への声掛け**
- **自己評価**
- **理解度**
- **共感度**
- **有効度**
- **評価の理由、講習会への意見、コメント**
- **不参加者対象：資料への感想、インティグリティについてのコメント**

総評

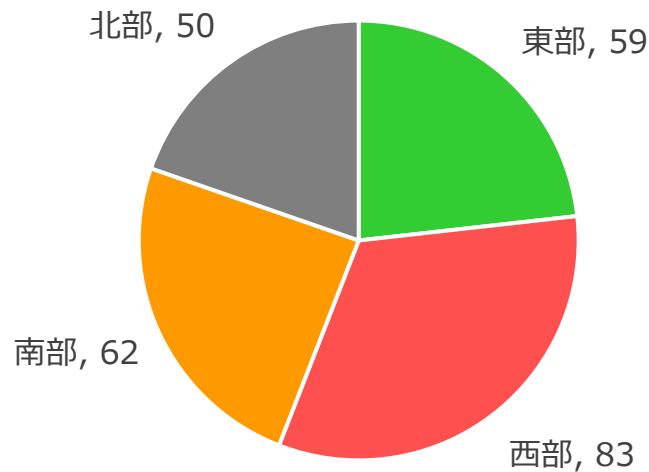
多くの指導者がインテグリティに関心を持ち、自身の**インテグリティを見直す必要性**を感じている。特に、**言葉や伝え方、子供たちへの態度や接し方、指導方法の改善**については関心が高い。一方、**他者の暴言や暴力への指摘**については、**当事者との関係性から困難な場合がある**と考える指導者は多い。

インテグリティ講習会への理解度や共感度は高く評価された。しかし、1回の講習会だけではインテグリティの向上は難しいため、「定期開催」といった**継続的な取り組みが必要**とされている。その際、**指導者だけでなく保護者も対象**にし、**具体的なガイドラインや良い指導・運営の事例を共有**する場になることが求められている。

インテグリティの重要性を周知し指導者の意識改革を促すためには、「**インテグリティについての再認識やディスカッション**」、「**言葉の伝え方や接し方等の研修**」の機会を定期的に、継続的に取り組んでいく必要がある。

インティグリティ講習会 開催結果

アンケート回答者数

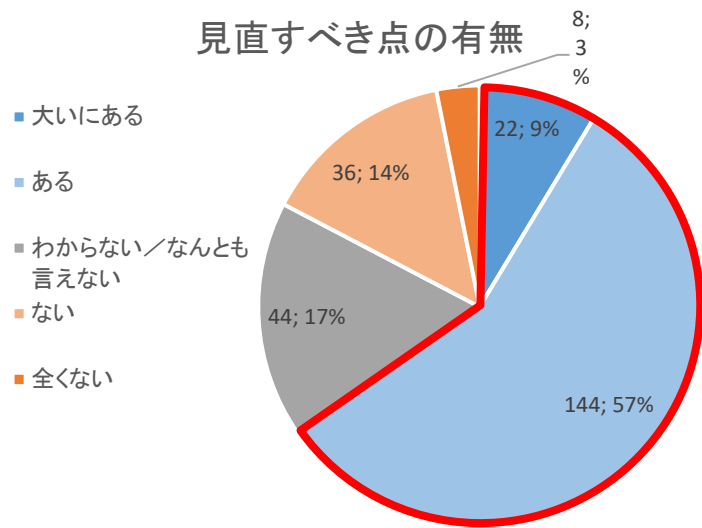


地区	参加者数	アンケート		【参考】 参加外 回答数	日時・場所	担当
		回答数	回答率			
東部	147	59	40.1%	4	7/1 (土) 18:00～ ウイングハット春日部	役員 : 鈴木副部会長 CD : 星野 延之氏
西部	94	83	88.3%※	1	7/8 (土) 19:00～ 川越運動公園総合体育館	役員 : 鈴木副部会長 CD : 浜田 智一氏
南部	107	62	57.9%	9	6/18 (日) 18:30～ プラザウエスト	役員 : 小山副部会長 CD : 天 和彦氏
北部	155	50	32.3%	6	6/24 (土) 18:00～ 行田グリーンアリーナ	役員 : 小山副部会長 CD : 有本 有一氏
計	503	254	50.5%	20		

※西部の回答率88.3%は、講習会内で回答を促した。

**6月18日から4週に渡って支部毎に開催。参加総数は503人。
参加者からのアンケート回答数は254件（回答率50.5%）**

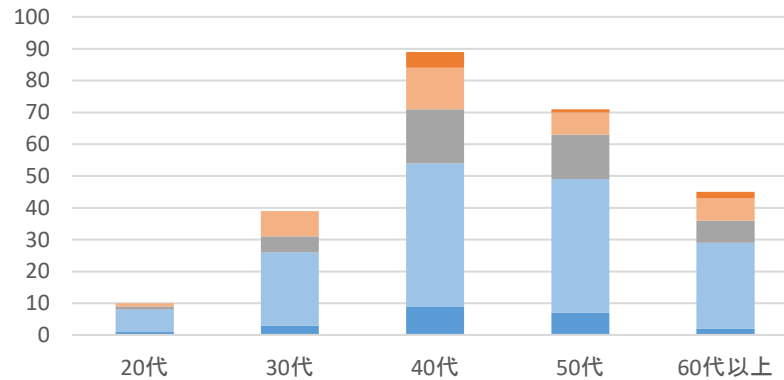
Q. 事例動画の視聴、インテグリティ講習の内容を踏まえ、
ご自身のインテグリティについてお伺いします。
ご自身のインテグリティについて見直すべき点がありましたか？（必須）



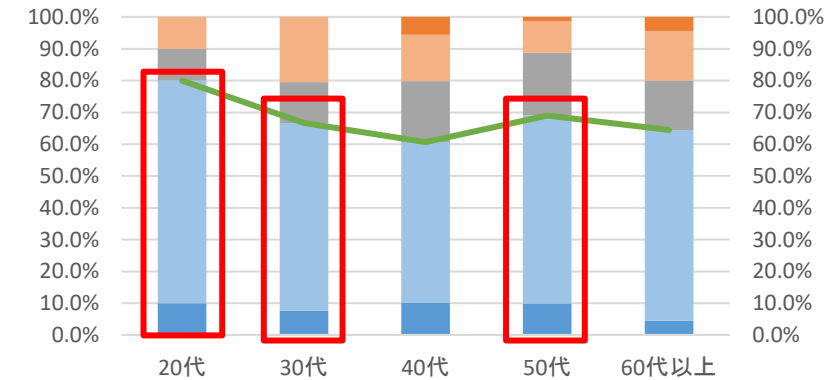
全体としては **65.4%** の回答者
が見直すべき点があると考えてい
る。

割合で見ると20代、30代、50
代の年代が多く、また、指導歴
10~20年、30~40年の割合が
多い。

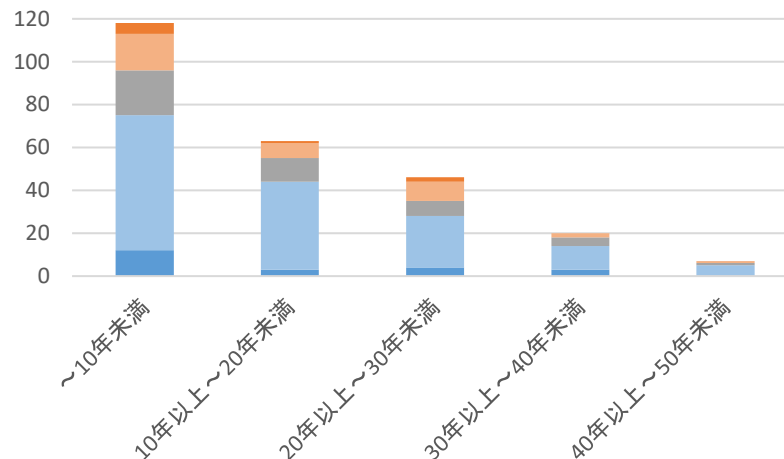
年代別



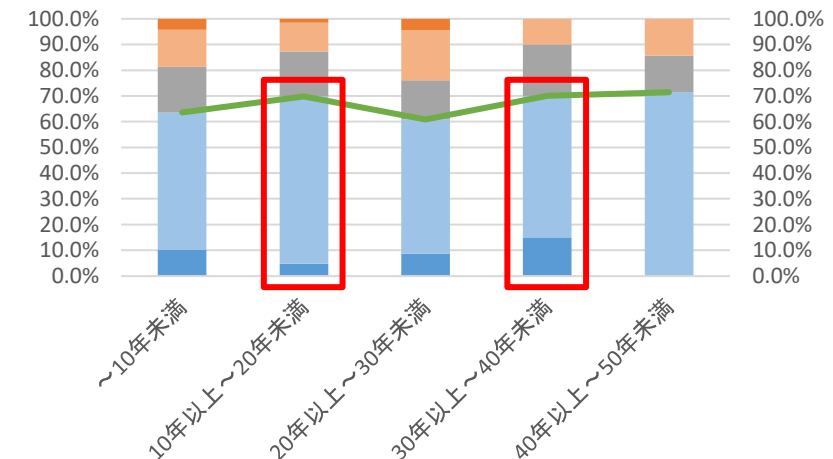
年代別：割合



指導歴別

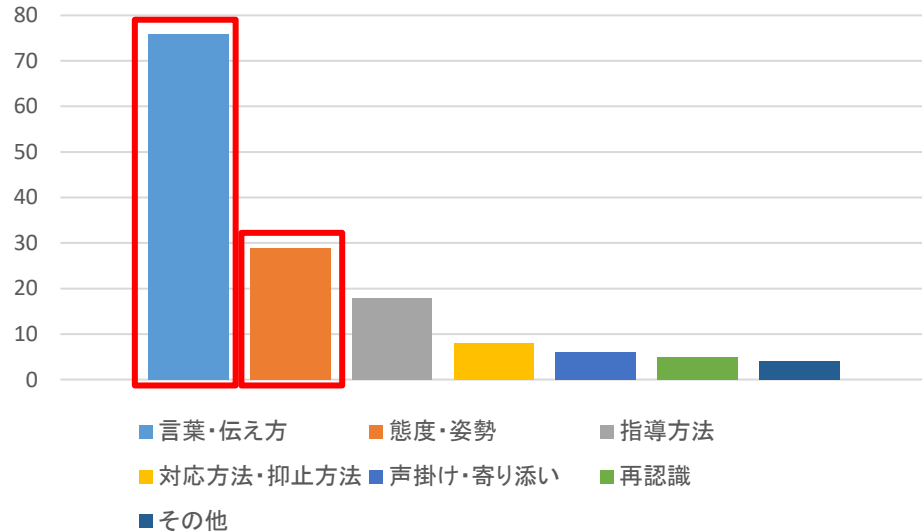


指導歴別：割合

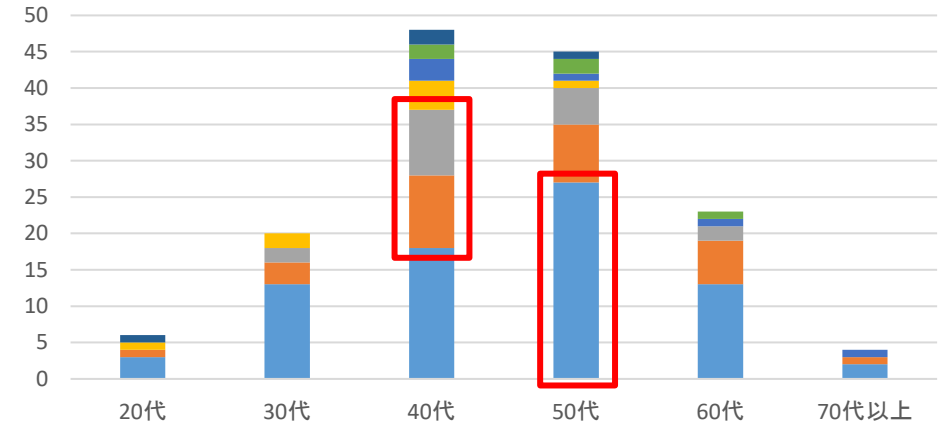


Q. 見直すべき点が「ある」、「大いにある」と回答した方に伺います。
それはどのような点か教えてください？（任意）

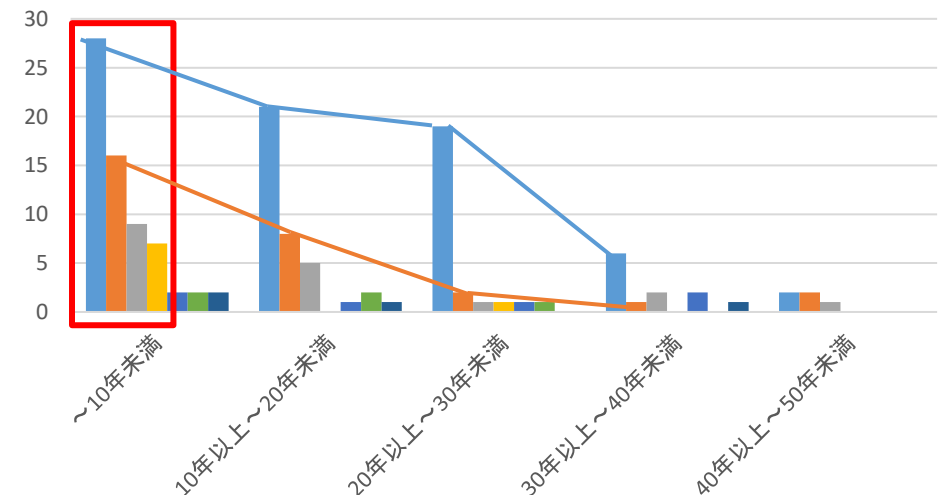
見直すべき点(その内容)



年代別



指導歴別



見直すべき点としては「言葉・伝え方」が最も多く、次に「態度・姿勢」が上げられる。

年代別では50代においては「言葉・伝え方」が多く、40代においては「態度・姿勢」、「指導方法」といった点も多い。

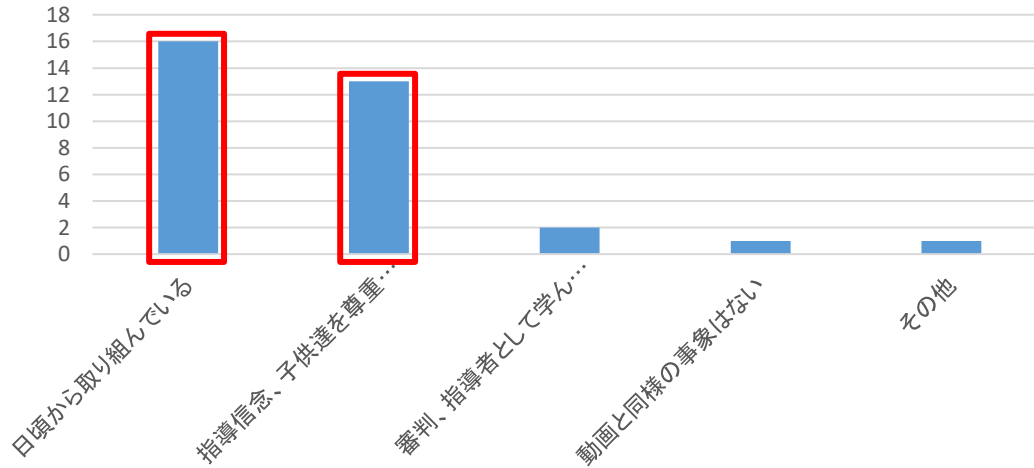
指導歴別では10年未満において、言葉、態度、指導方法、対応方法に見直すべき点があるが、それらの多くは指導歴が増えると減少している。ただし「言葉・伝え方」だけは指導歴が増えても高い水準にある。

【参考】見直すべき点（抜粋）

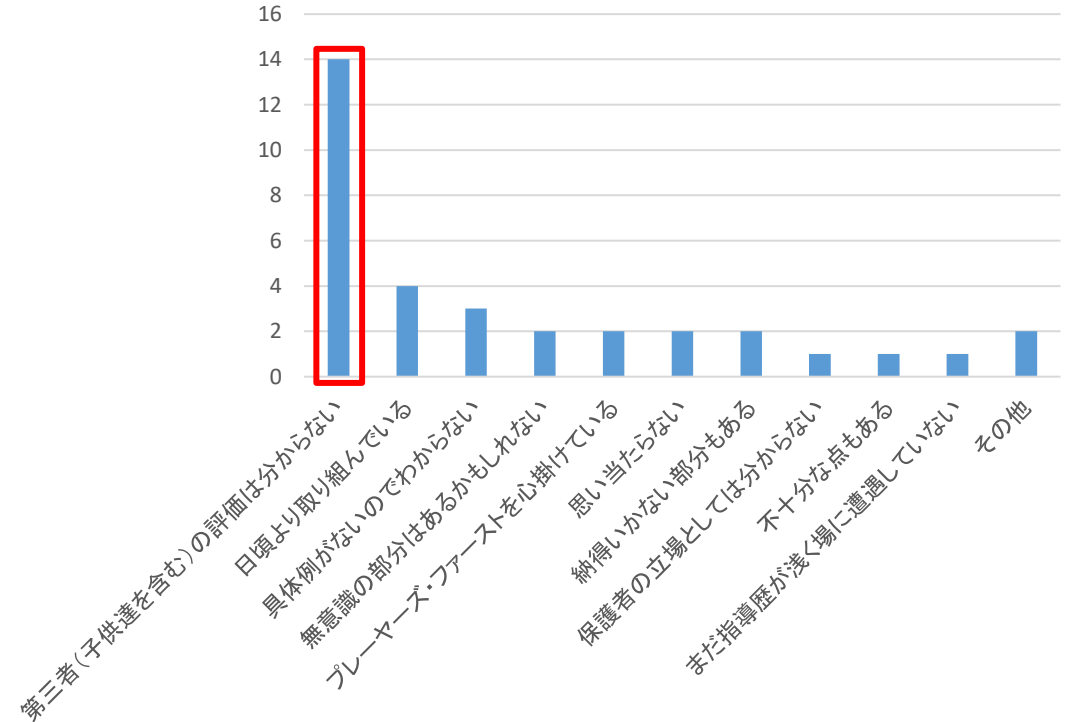
A.言葉・伝え方	77	C.指導方法	17
「おい」「おまえ」等の言葉が出る。		指導者感覚でプレーについて指導するだけでなく、子供たちの自主性や個性に合わせて指導するように心がける。	
ついつい児童への厳しい言葉がでてしまう。		トップダウンな指示が多くなってしまいがちなので、その点を見直さなければならぬと思いました。	
プレイでミスを繰り返す選手への厳しい声かけ		s自分本位での言葉になる事があるので、子どもの意見を引き出せるようにコーチング含めて行こうと思います。	
プレーヤーに強い口調になってしまう。特に、ディフェンスやルーズボールに対して。能力があるのにやらないのか、能力が育ってなくて出来ないのか、6年生に対しては前者と判断してしまう。		指導＝プッシュ型のコーチングが多く、もっと子供の考えを引き出していかないといけないと感じた。	
指導に熱が入ると、声が大きくなり、高圧的になる時がある		プッシュ(伝える)だけでなく、プル(引き出す)も意識した指導をしようと思いました。	
保護者として試合の帰りになんであの時にこうしなかったのなど言うてしまうことがある。		ヘッドコーチとのコミュニケーション	
子供達との信頼関係の中での言葉使いが本当に正しいものなのか等見直す必要も感じられた		D.対応方法・抑止方法	6
もう少し子供目線に立って、褒めるところと課題点をわかりやすく丁寧な言葉で伝えているか見直す点があると思う		選手が失敗したり出来ない時の対応。監督が選手より偉い様な立場にいること。	
受け手の印象が全てであるという点を考えると言葉の使い方は更に注意が必要と思いました。		審判が笛を鳴らなかつたバイオレーション、ファールの現象にジェスチャーを用いてアピールしてしまう事があります	
伝え方であるということが子供に対するのに相応しくないところがあると思われました。また、子供の人生に触れている。というところも踏まえて指導を行っていきたいです。		怒鳴ってる人がいても注意は難しい。	
小学生相手だと注意しやすいので、大人に言わないような事も言うてしまう。		E.声掛け・寄り添い	8
子どもたちへ考えさせる時に、どういう事を考えさせたいのかを上手く伝えられないときがあり、今までの経験だけではなく、時代に応じて、子供に応じて、改めて伝え方を学ぶことが必要だなと感じました。		より選手のモチベーション維持のために必要なことを理解できた	
B.態度・姿勢	32	選手の感情のタンクを満たすための声掛けが出来ていなかった	
子供たちに話をしている時の姿勢などで振り返らなければならないこともあると思うので、チームないで再度気をつけていこうと思いました。		審判をやっている時に警告を出すなど、盛り上がりそうだと思うたら声をかけるようにしようと思いました。	
自分の行動は見られている事を再認識しました。		F.再認識	3
指導者としての振る舞いが、本当に子供達に寄り添っているのかという点		エモーションナルタンク いろいろな方向からの満足があつての指導する プレイすることが大事	
ゲーム中座っている時に足を組む		Z.その他	5
自分の振る舞いが高圧的ではないか、声をあげるのではなく子供たちに伝えられているかを振り返るいい機会になりました。		実際に発生して問題となった事例の紹介なども交えた方がより具体的になると思います。	

Q. 見直すべき点が「ない」、「全くない」、「わからない／なんとも言えない」と回答した方に伺います。
その理由を教えてください？（任意）

「全くない/ない」の理由



「わからない／なんとも言えない」の理由



見直すべき点がない理由としては以下が多い。

- ・日頃から取り組んでいる
- ・指導信念、子供達を尊重している

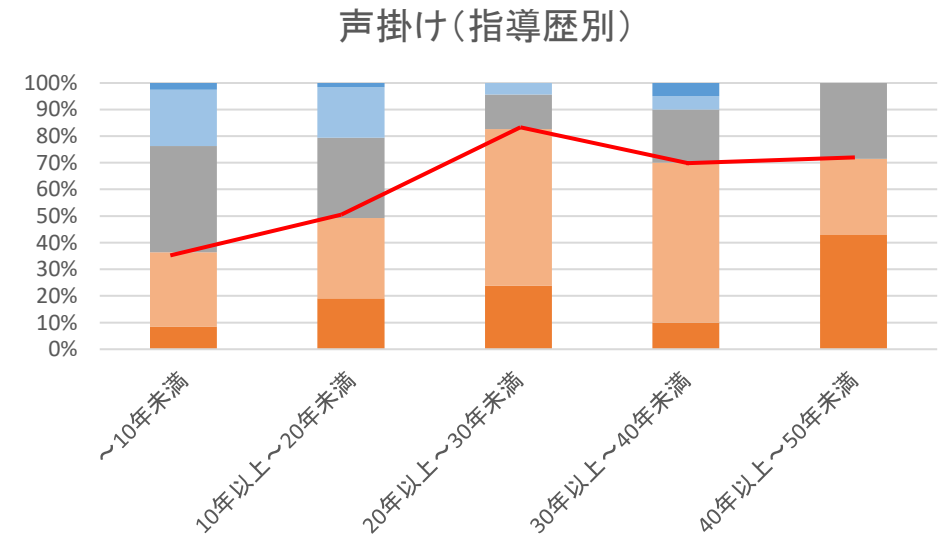
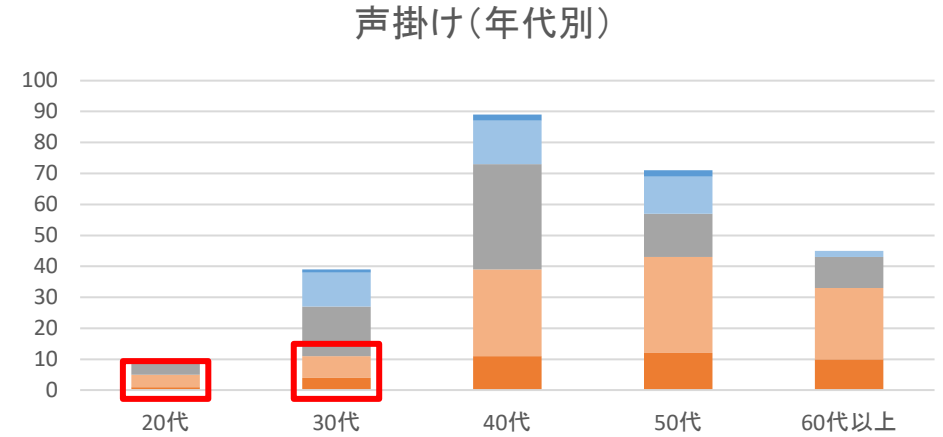
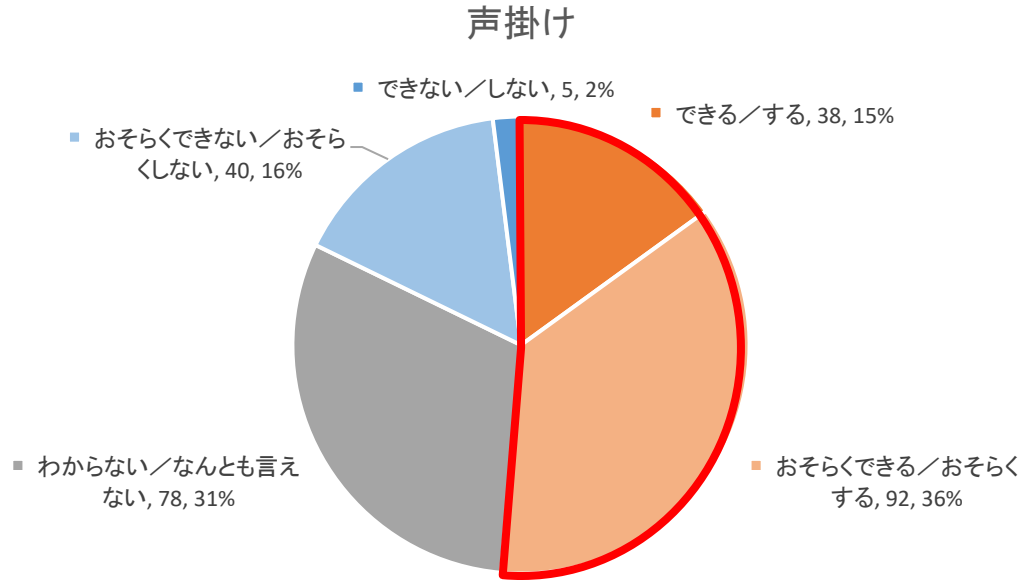
「わからない／なんとも言えない」理由としては、
「（本人としては取り組んでいても）周囲がどのように感じているかわからない」が多い。

また、具体例がないのでわかりにくいといった意見もある。

【参考】見直すべき点がない、わからない（抜粋）

A.日頃から取り組んでいる	16	B.指導信念、子供達を尊重している	9
<p>ゴールデンエイジの指導を勉強し、意味のない指導をしないと決めたので。</p>		<p>「褒めて伸ばす」が自身の指導信念なので、暴力暴言はありえない。ただし、家庭の中で子どもに対してやっていないかと問われたら「やっている」</p>	
<p>すでに実践している。あとは心掛け。</p>		<p>子供達には優しく接しているので</p>	
<p>自身この点について徹底して取り組んでいる。</p>		<p>出来る限り子供一人一人の気持ちを大事にし、個性を尊重するように心掛けてます。</p>	
<p>日頃よりアンガーマネジメントを心がけている</p>		<p>常に心がけて注意しているため</p>	
<p>以前から勉強しており気をつけているため</p>		<p>日頃からインテグリティを重視し、チーム内のコーチ達の間でも共有と指摘を密にしております。</p>	
<p>心掛けているから</p>		<p>子供達の事、気持ちを優先に指導してきた</p>	
<p>日頃から気をつけている。</p>		<p>常に指導者としてどうあるべきかを考えて行動し選手たちの人生の一部に関わっていて自分の言動が選手たちの人生に影響することを理解している。</p>	
<p>常に子ども達の事を考えて、無理強いする事なくバスケを楽しめるように考えている 指導を始めた時から、言葉使い等には、高圧的にならないように注意している。仕事時代にもそういった講習を数多く受けていたので。</p>		<p>暴言で子どもが成長するとは思えないから 自分の子供を預けたいと思える指導者を常に心がけている</p>	
<p>日頃からの意識</p>		<p>C.審判、指導者として学んできた</p>	3
<p>自分自身意識している為</p>		<p>JBAの講習会受講で認識し、実践している。</p>	
<p>今回の話の範囲については、意識して実践できているかと思います。</p>		<p>審判としてインテグリティを判定すべき立場でもあり、本来のコーチングを学んできたから</p>	
<p>自分自身の感情コントロールはもちろん、常に子供達の人生に触れていることを考え、行動している為。</p>		<p>常にインテグリティを意識し行動している</p>	
<p>常に気をつけて指導をしている</p>		<p>D.動画と同様の事象はない</p>	6
<p>自分を見直す良い機会だったため</p>		<p>元々暴言、暴力等の威圧的な指導を変えたくて指導者をやろうと決意したので学ぶ気持ちはありますが見直す点は無いと思っています。</p>	
<p>言葉の使い方 立ち振る舞いなど気をつけているので。</p>		<p>現状で十分対応できている。</p>	
<p></p>		<p>動画と同様なり事はなかった。ただ、今後は気をつけて指導する必要がある、周囲にも周知することが大事</p>	
<p></p>		<p>その様な振る舞いはしてない為</p>	
<p></p>		<p>動画を見て不快に感じたため。断言は出来ませんが、ないと思います。</p>	
<p></p>		<p>特になし</p>	

Q. 暴言、暴力を行っている指導者がいた場合についてお伺いします。
 あなたは当人に声を掛けることはできますか？（必須）



およそ半数が「声掛けできる」と回答した。また、30%程が「わからない／なんとも言えない」、20%程が「声掛けできない」と回答した。

年代別では20代、30代が「声掛けできる」とした回答が少い。指導歴別では年数が上がるにつれ「声掛けできる」の割合が多くなっている。

【参考】声掛けの例（抜粋）

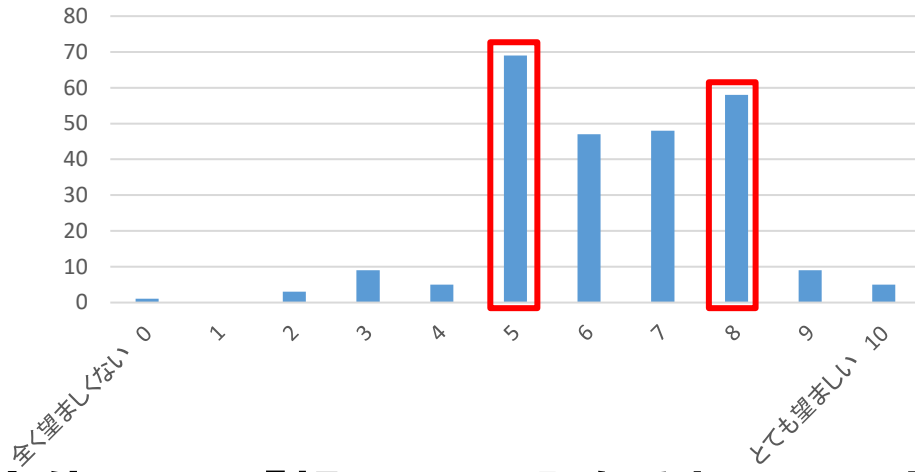
A.声かけの方法や態度	48	C.インテグリティや個性への言及	11
○○だともっと良くなりそうですね		「今の行為、発言はインテグリティに抵触します。改善しましょう」	
審判中であれば近くに行って抑えるように合図する。		ハラスメントは現社会では認められないもの。相手の人格を尊重して対応するように促す。	
身近な指導者や交流のある指導者には日ごろの行動や考えがわかるので声掛けは自然にできると思うが、初対面には難しい。		オブラートに言う。このインテグリティのことを説明する。	
人前ではない場でそれとなく伝える。『あまり良い風に見られてないですよ』と。		落ち着いたときに声をかける 暴力ならば、その場で止める	
相手も尊重しながら声を掛けていく		保護者や他の指導者がいない場所で、講習会でインテグリティの話しを聞いた内容を伝え、技術を教える事に粗暴な振る舞いや言動は不必要である事を話します。	
該当者の熱心さを認めつつ、ほめて、認めて、伸ばす方が、子供達も指導者もお互いが嫌な思いをしなくてすむのでは.....と話すとします。		D.コミュニケーションや感情	8
率直に『それはダメです』が良いと思います。		すいません。ちょっと今の声後けは、きつくはないですか？	
まあまあと言う		どうしました？と聞く	
対 大人なので私はストレートに言います		話を聞いてあげ、別の解決方法を一緒に考える	
やりすぎです(言いすぎです)。皆も見てます。やめましょう。		熱くならないように まあ落ち着いて 威圧は通じない 保護者から苦情がくる インテグリティなど	
B.指導者への注意・指摘	22	E.指導者と保護者の関係	3
お互いもう少し注意しましょう！みたいな感じで。		時代の流れをお互いに理解しよう	
自分のことを例に上げお互い気を付けましょう		保護者とかも見てるので、気をつけていきましょう	
子供達の未来を奪う権利は無い。その言葉、その態度で子供たちがバスケットを嫌いになるかもよ。		Z.その他	11
実際見てみないとわからないが、このような事を言うと思います。		場面で変わる。抽象的質問です	
今の発言、まずいですよ		話をしている時や、酷い場合はストレートに言います	
試合終了後、自分の身元を明らかにして、「あの言動の趣意を教えてください。」と、回答があれば、もう少し丁寧な言い方がいいと思いますと伝えます。		審判として自動的に接する	
言い過ぎ注意、みんな観てるよ。と Aコーチの立場で自チームのHコーチに、それはテクニカル案件ですよの声かけを現在もしています			

【参考】声掛けできない理由（抜粋）

A.人間性や関係性の問題	30	D.影響力や後続の関係性による言えなさ	8
その方との関係性		キャリアや技量が対象の方が上の場合、指摘することで後に不利益を被ることになりそうなので。	
バスケ、またミニバスの指導者は結構な割合で、怒鳴ったり暴言を使ったりするので、それが当たり前の空気感になってるので。特に指導歴の長く、また役員などを務めている方々にもそのような方が多いので、言いづらい。		研修等で様々な指導者と話をしましたが、注意する相手がそれなりの実力者だった場合、後にチームの活動に大きく影響を及ぼす可能性があるため、簡単に注意できないという意見が多く、自分もその点は慎重にならざるおえないと感じます。	
まだ文化として相手にインテグリティを指摘するのは難しいのと、人間関係に影響をきたしそうだと感じている。		相手が周囲に影響力のあるような目上だった場合、不快にさせてその後の関係性が崩れたり、会場、大会を提供するホストチームにも迷惑をかけてしまうような気がする。	
言える様な、行動、言動が自分に出来ていない部分がある。言えない事は自分に何かしら問題があるから。		E.チーム改革や対策の難しさ	8
指導者と子供。指導者と親御さん共に信頼関係が築かれている可能性がある。		何度も実際に見ています。聞いています。これだけ叫ばれているのにです。こういう場合、チーム改革がなければ変わりません。その指導者を現場から退場させるチーム改革です。すでに消滅したチームやコーチが変わったチームを知っています。これは外部からは非常に難しいアプローチだと考えています。	
子供や親御さんに不満や嫌悪感が表れていたら注意するかもしれない。		ただし、何もしていないわけではありません。対策はしています。そういうチームとはチームとして交流を断ちます。私見ですが、これが最もその指導者にとっては厳しい処置だと思います。理性ある人間であれば、他チームとの交流がなくなったら認識してくれると信じています。	
他のチームの指導者には言えないが、自身のチーム内であれば、言える		かわいそうなのは子どもたちです。できることなら移籍してウチに来てほしいと思ってしまいます。	
平行線でわかってもらえず嫌な思いをした。		また、そんなチームと公式戦でどうしても同ブロックになってしまった場合は、非常に気が滅入ります。かわいそうな子どもたちを見たくないですし、そんな指導者を自チームの子どもたちにも見せたくないのです。	
暴言を吐いてしまう指導者の気持ちも理解できるから。ただし、暴言暴力を振るわれた子に対してあとからフォローをするのが役目だと考える。		暴言や暴力はダメだと思うが子供のために熱い指導になり口調が強くなってしまった可能性がある為。	
B.地位や経験による言いづらさ	9	Z.その他	27
立場が上の方にはいいにくい。		あまり酷ければ声かけますが、何か考えがあつてのことに思える時などは、何でもかんでも言葉尻だけを取って言うことはしないと思います。	
経験が浅く指摘できる絶対の自信はない		暴力は止める	
年配の方や先輩にだと言いづらいので		様々な事情やそのチーム内の信頼関係があるので、部会に報告する。	
面識のない方へ注意することが出来ない。明らかに度が過ぎればできるかもしれないが何とも言えない。		客観的な意見を伝えるのも大切ですが、自分で気付くという事も大切だと思うので。(失敗も含めて)	
C.目上の指導者への言いづらさ	18		
すべきという気持ちはある。一方で自分より、目上の方も多く言いづらさを感じることもある。			
その指導者との人間関係にもよるが、暴言を吐いた本人に直接言えるかということと中々言えないと思う。その指導者と人間関係の深い人を介して、注意してもらおうと思う。			
まずは自分が大切と考えてしまうのと、相手の価値観に踏み込めるほどの自信がない。指導者同士の関係ができていたら、あまりにもいきすぎている場合は言えるかも。			
コーチ、指導者に上下関係はありませんがやはり自身より年配者などには言えない			
偉い人に忖度している方がたくさんいる為			
まったく知らないチームであった場合、声を必ず掛ける自信は無い。※審判している時は別途			

Q. ご自身のインテグリティについて伺います。
 ご自身のインテグリティに対する現在の姿は、子供達、保護者、自分以外の
 指導者からどのように見られていると感じますか？
 0～10でお答えください。

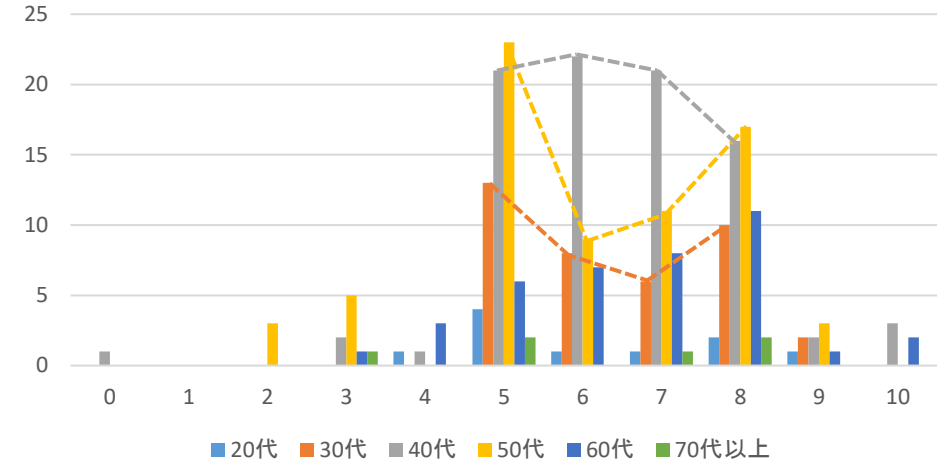
ご自身の姿



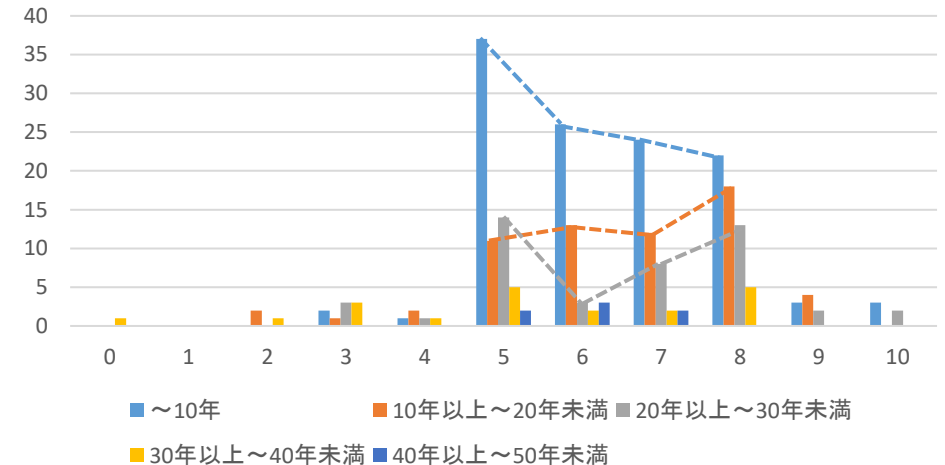
全体としては「望ましい」と評価されている。ただし、「5」と「8」の2つの山があることから、2極化の傾向が伺える。特に50代、30代においては、その傾向が顕著に表れている。逆に40代においては「5～8」の評価全般が多い。

指導歴においては、10年未満においては高い評価は段々減少しているが、10～20年では高い評価が増加している。20年～30年では2極化がみられる。

年代別



指導歴別



【参考】自身の評価（抜粋）

※表内の数字は自身の評価の値

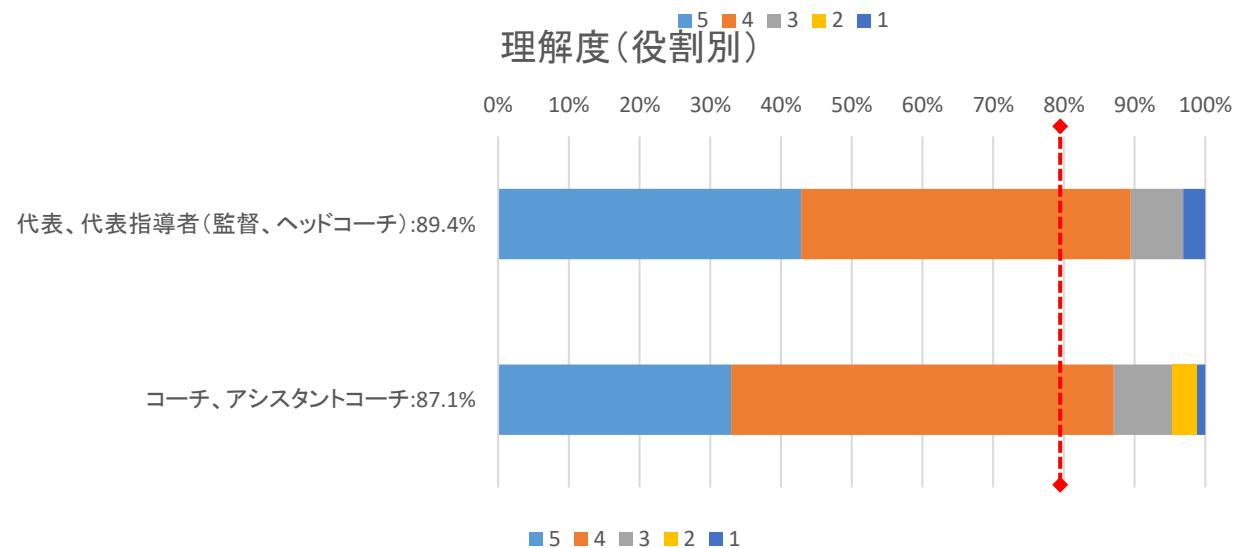
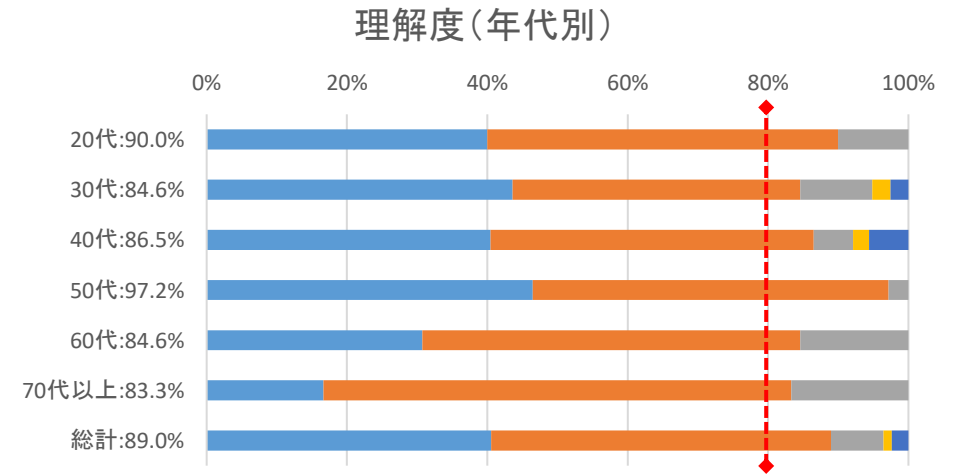
A.コミュニケーションと人間関係		36	C.評価の主観性とインテグリティへの取り組み		8
10	他の指導者に対しても情報を共有してチームとして取り組んでいる。		8	C級講習会でインテグリティについて学び、関連書物を読むようになりました。過去の自分を変えるために、今は書物から得た知識を指導現場に活かせていると思うからです。	
9	子供たちや保護者とは良好な関係が築けている。問題を早目に解決するような努力をしています。		7	周囲からの反応を客観的に考えた数字です。出来る限り子ども達と目線を合わせて指導するように心掛けています。	
8	周りの目を気にして指導している。		5	暴言暴力等もなく正しい振り舞いをしているとしても、見る側の考え方・見方により、望ましくない姿として歪曲されて捉えられてしまう可能性が否定できない。	
8	基本的には怒らないようにし、気を使っているつもりでもある。		5	例えば、インテグリティとして問題がなくても、チーム戦術やプレイスタイル、選手起用などの観点から、保護者が指導者を良く思わないこともあり得る。その場合に、インテグリティも望ましくないとして悪いレッテルを貼ってくる人もいるかもしれないと考えました。	
5	元々、子供達に対する言葉や態度には気をつけていたが、ここ数年は特に指導における言葉使いや態度には気をつけており、何はともあれ子供達が楽しく伸び伸びと出来る環境を作ろうとしているから。		D.自己反省と成長意欲の努力		8
5	保護者は我慢している感がある		9	心掛けていますから	
3	子供や親の反応		5	常に指導者も学んでいる立場なので、最善を尽くせるように行動したいと思います。	
3	試合前に「今日は怒らずに、できるだけほめてね」と子供たちから言われるから。		E.子供への関心と関わり方の改善		4
B.言動と態度の注意点		32	8	子供たちの為に、、、が活動の根底にある	
10	優しく接しているの。		F.声の大きさとコミュニケーションの注意点		7
9	完璧では無いと思いますが、常に態度や言動には注意しております。また、私及びチーム方針として勝利至上主義ではやっていない事を総会や日頃の会話でも保護者に伝えていきます。		8	練習時は意識しながら行動しているが、試合等になると大声等が出てしまうので注意が必要です。	
9	従って厳しくも強いチームで指導を受けたいという方は移籍して行きましたので。		3	試合中、時に指導から逸脱したような感情が出ている気がしています。	
	強く指導者することもあること 選手の反応から反抗的の場合こちら、大人気なく言い返すことがある		G.指導方法の改善と適切な伝え方		11
	どちらの場合も言った後に、後悔はしている		9	選手のプレーに対して怒ったりダメ出しをしていないから。選手の意見も聞き、改善すべきアドバイスをしているから。	
4	笑わない、冷たい、厳格な態度		8	伝え方に気をつけていて、本人たちの話も聞く機会をもっている。ただ、プレーの中での指導で言葉のみでの伝え方になってしまう場面もあるため、高圧的なところもあると感じたから	
3	言葉の使い方が昭和のまま				
	子供と保護者との関係やコミュニケーションは取れており団員も止める子がいなく、増加している。ただふと厳しい言葉をかけていないかと自身で感じることもある				

Q. 講習の内容についてのどのくらいご理解、共感頂けたでしょうか。
また、このインティグリティ講習は有効だったでしょうか。

■理解度（4、5の割合） 89.0%

理解度は89%と高い。特に50代は97.2%と非常に高い値である。

「代表、代表指導者」89.4%、
「コーチ、アシスタントコーチ」
87.1%と高い値である。

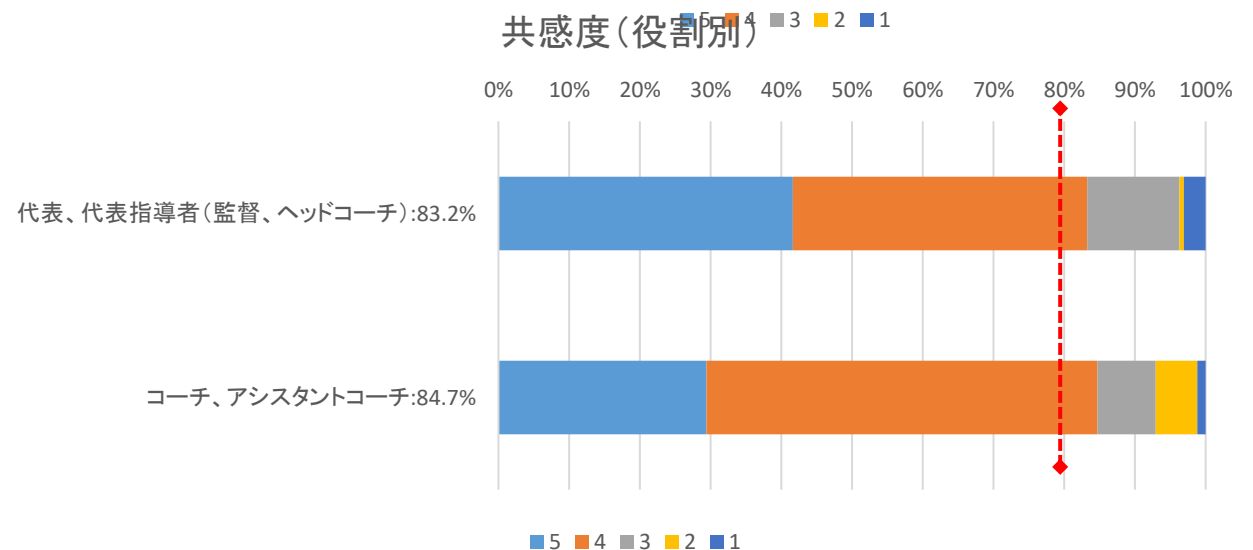
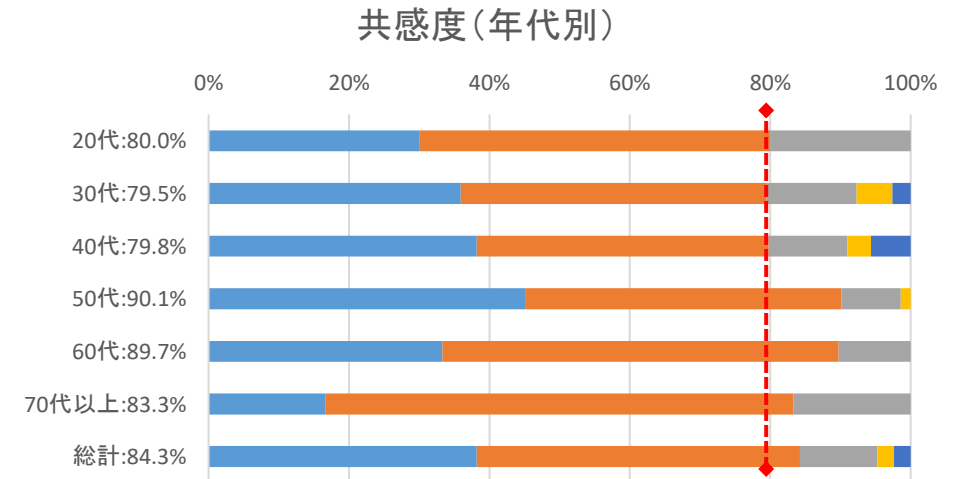


Q. 講習の内容についてのどのくらいご理解、共感頂けたでしょうか。
また、このインテグリティ講習は有効だったでしょうか。

■ 共感度（4、5の割合） 84.3%

共感度も84.3%と高い。ただし、
理解度と比較すると5pt~10pt
程下回っている。

役割別の共感度も同様の傾向
であるが、「代表、代表指導者」に
おける「4」の評価が理解度より低
い。



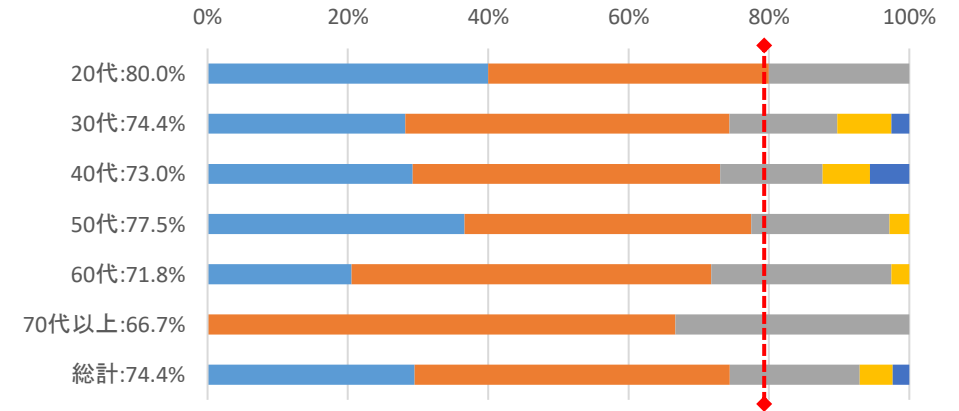
Q. 講習の内容についてのどのくらいご理解、共感頂けたでしょうか。
また、このインテグリティ講習は有効だったでしょうか。

■有効度（4、5の割合） 74.4%

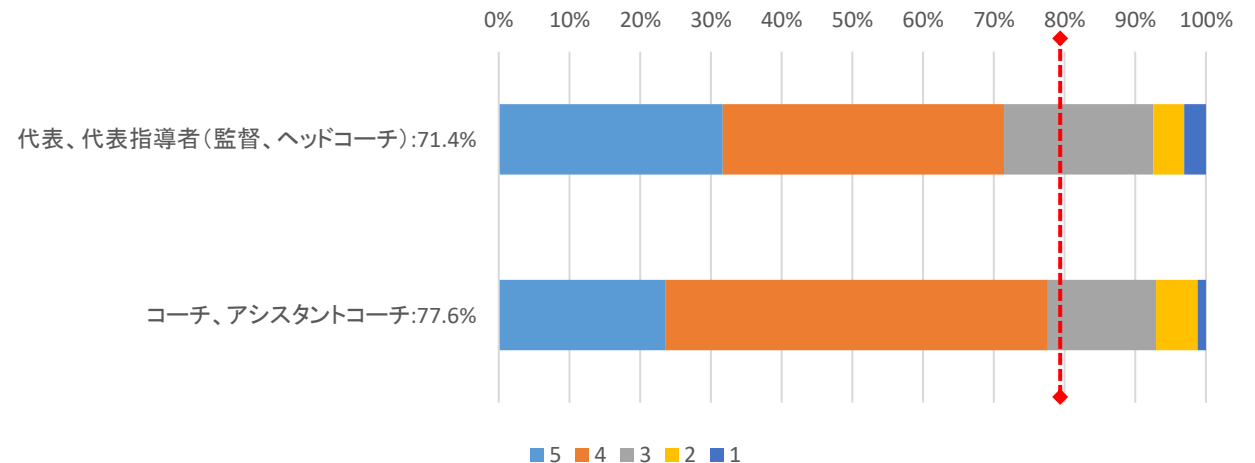
有効度は74.4%と、理解度、共感度の水準と比較すると低い。特に60代は71.8%と低い値である。

「代表、代表指導者」71.4%、
「コーチ、アシスタントコーチ」
77.6%と低い値である。

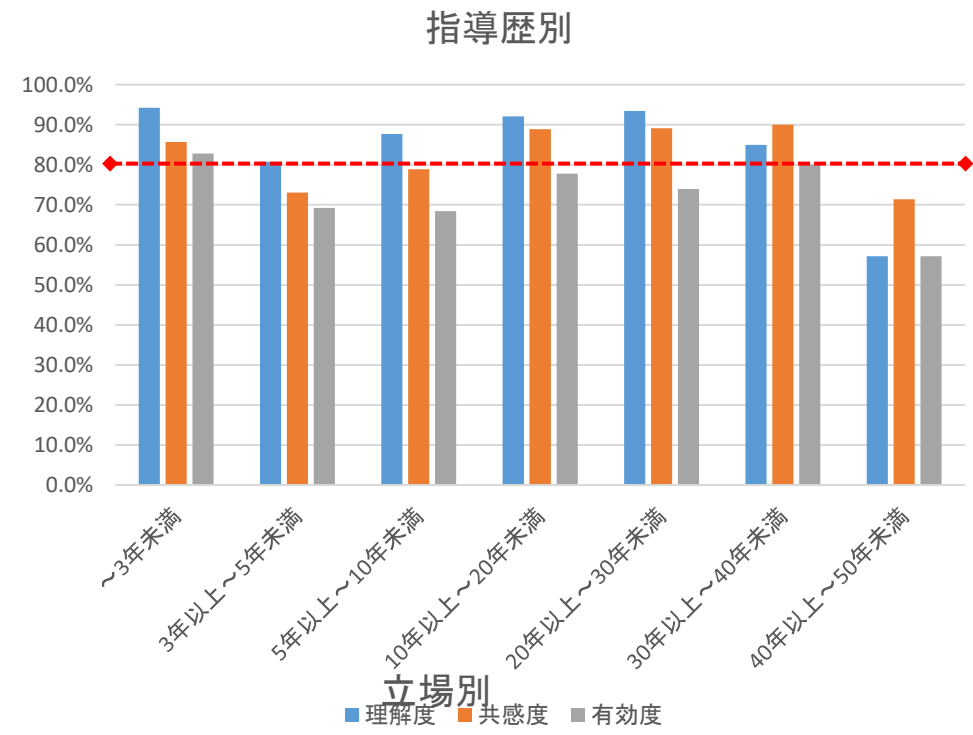
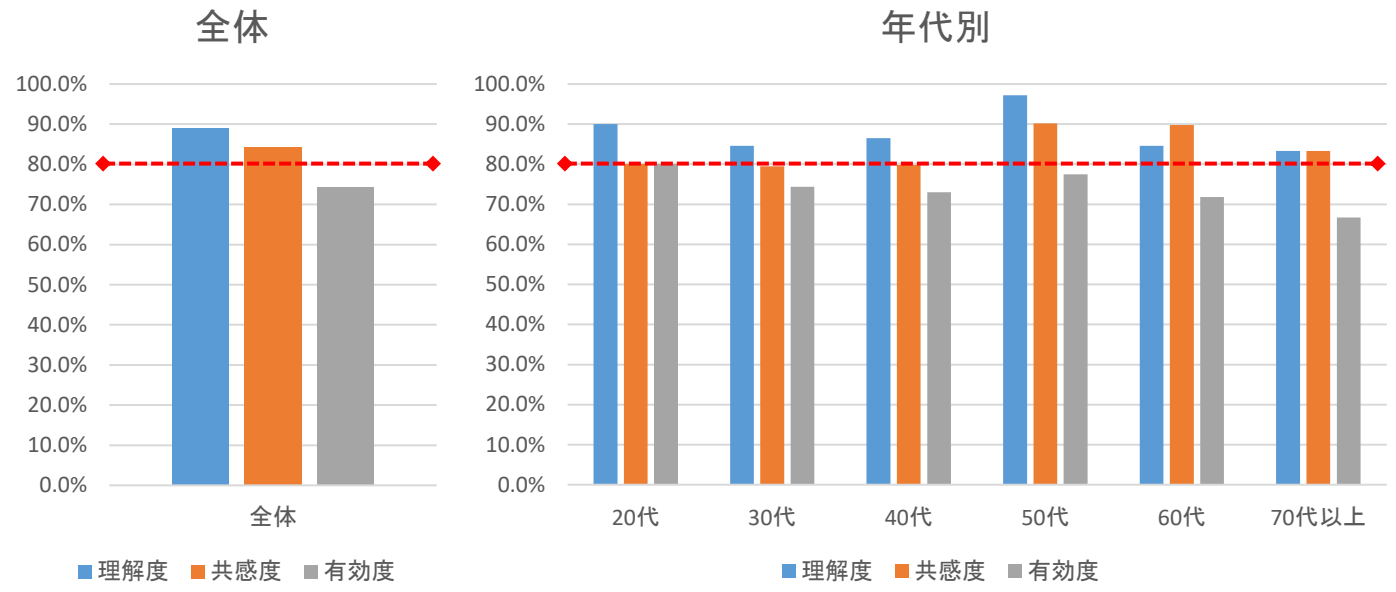
有効度(年代別)



有効度(役割別)

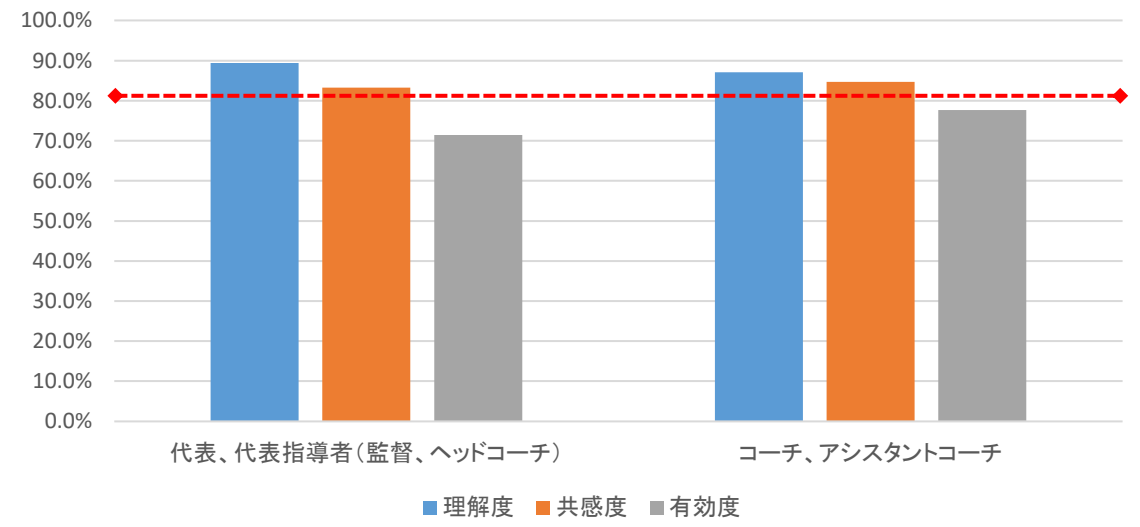


【参考】 インティグリティ講習への理解度、共感度、有効度



「理解度 > 共感度 > 有効度」の傾向が確認できるが、60代や指導歴の長い指導者において、共感度が理解度を上回っている。

指導歴3~5、5~10年における有効度は70%を下回っている。



- Q. 回答された理解度、共感度、有効度について理由を教えてください。(任意)
- Q. 今回の講習会についてご意見、コメントがありましたらご記入ください。(任意)

理解度、共感度、有効度 評価理由	個数
A.具体的な事例による理解の促進	24
B.指導者としての役割と責任の認識	8
C.指導者間の情報共有と共通理解の重要性	20
D.実践の重要性と課題の認識	8
E.反省と自己成長の意識の高まり	21
F.有効度への疑問と葛藤	18
Z.その他	5
総計	104

「具体的な事例により理解が進んだ」、「指導者間で共通の情報が共有できた」との声や、「自身の反省から自己成長を高まりを感じた」等の意見がある一方、単開催の講習会での限界を懸念する声がある。

講習会については継続的な情報共有が望ましい。

講習会へのご意見、コメント	個数
A.共有の重要性	11
B.バス界の改善の必要性と期待	1
C.指導者の役割、態度、行動の重要さ	4
D.インテグリティの重要性（取り組みやガイドラインの作成）	6
E.講習会の評価、継続的な開催の要望	19
F.地区への掘り下げ、落とし込み	3
G.具体的な事例と身近な出来事の共有	6
H.講習会とスムーズな進行	13
I.子供への接し方の改善、指導者の意識改革	11
Z.その他	24
総計	98

【参考】評価理由 (抜粋)

※表内の左側の数字(1~5)は理解度

A.具体的な事例による理解の促進		24
5	エモーショナルタンクを満たす働きかけをもっと行って行きたいです。	
	映像を見たコーチ達がざわついた。当事者が傍観者が別にして、心当たりがあるんだと感じました。	
	見たことがある、聞いたことがあるといった内容もあったため、イメージが湧きやすかった。	
4	理解度⇒数字・動画でわかりやすかった 共感度⇒動画で客観的に見れて、インテグリティの必要性に共感した 有効度⇒自分を振り返る機会があり、有効である	
B.指導者としての役割と責任の認識		8
5	「立ち振る舞い」について気づかせてもらったため	
4	何が問題であるか、どのような指導者であるべきか再確認出来た。	
C.指導者間の情報共有と共通理解の重要性		20
5	教えてもらうだけではなくグループワークをすることで自ら考えることができた点と様々な人の意見を聞くことができたからです。	
	今回の講習会は、県全体での取り組みなので、今後、試合で県内のどの会場に行っても、万が一不適切な指導があった場合は、共通理解がされている前提で対応できるため。	
	子供のために解決していくべき問題であり、組織として取り組んでいく姿勢を感じたため。	
4	個人的には理解できたが、チーム内で共有できるかどうか不安はあります。	
	定期的にこのような機会を開いて頂いて、もっと理解を深めていきたいと思いました	
3	参加者がインテグリティについて考えるよい機会になった	
1	見本の動画などを見てみると、昔は自分もそうだったと恥ずかしくなりました。人に指摘されるよりもこういった講習会でたくさんの方が気付いて変化していった方が有効なのでは？と思ったので、こういう機会をたくさんつくってほしいです。	

D.実践の重要性と課題の認識		8
5	教材の映像を見て、映像の指導者の指導力不足を感じたので。	
	有効度に関しては、本当に1人1人の指導者が自ら実践していかないと、この問題はなくならないと思うから。講習を受けても実践しないと意味がない。	
E.反省と自己成長の意識の高まり		21
5	自身を見直すいい機会でした	
4	しっかりとまた再度スタートラインに立つ意味でも良い引き締めになりました。 次の日から言葉の伝え方を意識するようになった。考えさせられました。	
F.有効度への疑問と葛藤		18
5	昨今のインテグリティに関する考え方については賛同しているし、理解もしていつていづもりだが、周りはまだ進んでいないように感じ、相手（指導者）に理解を求めるといふ部分についてはまだまだ難しいと感じている。	
	理解しますし、共感もします。ただ、もっと突っ込まないと有効な動きになりにくいと思います。	
	理解はするが、子どもの態度などで、時に強く言わなければいけない時もあると思ってしまうので、側からの見目が全てではないことに少し葛藤があります。	
4	特にミニバスは古い人間に対しての付度が多い、そこを改善しないと何も始まらない。	
	判断基準が違う人（暴言ではなく指導と思っている人）には有効でないと思います。	
3	暴言はく人は一生なおらないと思う。	
1	動画が極端すぎる	
Z.その他		5
5	友好度については、その人の資質や育った環境が大きく影響していると思います。残念ですが、50代60代世代は自分の経験だけでものごとを考えている人が大半だと。しかし、いまは、メディアでもハラスメントに関する情報や説明がしっかりと発信されるようになってきているので、今後もこのような講習を継続していけば、少しずつ良くなっていくと。また、そうでないといけません。	

【参考】講習会へのコメント（抜粋）

※表内の左側の数字(1~5)は有効度

A.共有の重要性		11
5	気運の醸成には、このような場を継続して行うことが必要と考えます。今回は講義形式だけでなく、他の人と対話をする機会がありました。インテグリティのような内容については、対話を通じて多様な価値観と意見や思考を交流することが大切だと思いました。	
4	ブロックでも行いたいですし、親にも共有したいです 浜田さんの皆に周知してもらいたいという気持ちが伝わってきました	
3	とても考えられ、いい方向に進めていきたいという意志がとても伝わりました。 講習会に対し、異論も反論もなく、激しく同意です。 本当に本当に伝わってほしいです。伝わるべき人が胸に手を当てて、これは自分のことだと改心してほしいのですが、難しいでしょう。	
B.バス界の改善の必要性と期待		1
3	色々な取り組みとてもいいと思います。ありがとうございます。それだけ今までのバス界に問題があったことなのかな、と思いました。	
C.指導者の役割、態度、行動の重要さ		4
5	指導者の態度を画像で説明するのは説得力があった。指導者だけでなく保護者への説明や理解も必要と思います。	
3	昨日は有難うございました。足を組む・ポケットに手を入れるなど自分でも気になる部分がありました。今後の発言だけではなくそのような態度にも注意していきたいと思います。	
D.インテグリティの重要性（取り組みやガイドラインの作成）		6
4	インテグリーダーに関するガイドラインを作成した方が良い。ここまでならセーフ、それを超えたらNGなどとよい。現行では、インテグリーダーに関する判断の境界があいまい。 とてもよかったです。審判に対する暴言は少ないですが、リアクションなど傷ついたことは多々あります。防止のための取り組みがあってもよいと思います。	
E.講習会の評価、継続的な開催の要望		19
5	また開催する予定がありましたら是非参加したいと思います。 講義時間はちょうど良い長さだったと思います。 定期的に開催して頂きたい 動画についての『問題提起』をテーブルの隣の人と意見を交わす機会を頂きましたが大変良いと思いました。時間があればテーブル毎の発表も有れば具体的になるかもしれません。	

F.地区への掘り下げ、落とし込み		3
3	改めて時間を取って、細かい地区割でやってみてはどうでしょうか？	
1	もう少し時間をかけて掘り下げていただきたいです。	
G.具体的な事例と身近な出来事の共有		6
5	動画で示していただき、とても分かりやすかったです。	
4	理論、概念のほか、具体的な事例（公表のみではなく、投稿されたクレームなど）を紹介し、身近な出来事であることを周知する	
H.講習会とスムーズな進行		13
5	講演時間の30分が若干短いと感じました。	
I.子供への接し方の改善、指導者の意識改革		11
5	ありがとうございました。積極的に根絶できるよう、U12全体で考えていきたいです。	
	人生に触れている。響きました。 考え方を改められるところを少しずつ変えていきたいです。	
4	先月、立て続けに体験・入団した子どもの保護者の方々から「近くの別の強い団に体験に行ったが指導者がこわくて・・・」とお話がありました。インテグリティを守りつつ勝てる団にするには指導力が大事になってくるのだと、保護者の立場で思いました。	
	私は指導歴31年ですが、経験から、小学校の先生のなかには、たぶん、普段の学校生活の延長で子供にたいする接し方が治らな人を多く見てきました。この問題は、社会全体で取り組みをしないと考えています。	
2	講習会の中のハインリッヒの法則にあったように、幣団でも指導者の伝え方の中で、子供を傷付けるような言動についての相談を受けた事案があります。相談者一人だけでは無く潜在的に他の子も受けている可能性もあるか？その場合、どのように対処するか？(例えば無記名アンケートが良いのか？)対処方法があればご教示頂けたらと思います。	
Z.その他		24
5	指導者だけでなく保護者教育についてもやって頂きたい。	
3	それぞれの意識改革が必要。 暴言暴力は犯罪なんだと認識する。	

Q. 資料をご覧になった感想やインティグリティへのコメントをお願いします。

A.小学生への技術指導だけでなく人間関係の構築も重要	2
チームの代表として各指導者への意識付けが大切 個人だけでなくチームとしても取り組んでいくことが必要	
人間力を高めることは、非常に大事だと感じています。特に発育発達の著しい時期の小学生を対象にする指導者は、競技の技術指導と同時に、人間関係を築くことを重んじるべきだと思います。	
B.暴言や暴力といった問題行動に対して反省と改善が必要	2
自分の反省すべき点があり、良い機会だった。暴言については、他チームで大会や練習試合でもまだまだ見受けられるので、普段から良しとしてる状況を変えなければならないと感じた。	
反省する項目がある	
C.活動が楽しくなるような工夫や雰囲気作りが必要	2
u12は特に楽しくできる雰囲気作りが大切です。	
普通の考え方をしていれば問題はないかと思います。指導者も、子供達も勝ちたい気持ちは必要な事だと考えます、楽しみながら出来て将来ある大切な時期に身体を壊すような練習をさせてまで行っても少しも楽しくないかと考えます。 常に練習が楽しくなるような興味を持ってくれるような工夫をしななければ続かない気がしています。その為にも指導者は考えるべきかと思っています。	
D.指導者の感情とメンタルヘルス	1
簡潔で見やすく、良いと思います。しかしながら指導者も感情を持った人間で、その時の自分が置かれている状況（公私）によっては感情のコントロールが難しい時も当然あると思います。正論を掲げるのみならず、指導者のメンタルヘルスについても触れて頂けたらと思います。	
E.定期的なアンケートや厳しい対応による暴言や暴力の根絶	2
東部支部ではかなり減ったと思います	
暴力暴言根絶、忘れた頃にまた起こる問題だと思います。今、このようにアンケートを取ってるうちは、コーチも気を付けていることでしょう。また1年後には元に戻ると思います。暴言を平気で言うコーチは実際にたくさん存在すると思います。定期的にこのようなアンケートを取って欲しいです。絶対に無くす為には、実際にコーチの名前を出して注意して頂くように、容赦なく暴力暴言根絶して欲しいです。絶対に許してはいけません。子供達が楽しくそして時には、暴言の無い言葉で叱られながら、強くたくましく育てて欲しいです。	
Z.その他	4
とても勉強になりました。	
よく理解していかなければならないと思います。	
為になった	
当然な事を未だに出来ない指導者がいることが不思議だと思っています。	

Thank you